

まずは一年間頑張ろう

松原剣道 中学一年 中島 志穂梨

私は剣道を始めてまだ五ヶ月です。今まで身近に剣道をしている人もなく、剣道はスポーツと捉えていました。

剣道を始めたきっかけは、中学校での部活紹介を見た時です。鬼滅の刃になぞらえて、技を披露してくれました。道着姿が凛として格好よく、大きな声で「イエーン！」と力強く技を決める姿に感動しました。仮入部期間

に入ると、真っ先に剣道部に行きました。それがきっかけで剣道を始め、部活の内部顧問をしてくださっている先生が所属する、松原剣道場に入団しました。

入団をして数日間、全くの初心者だった私に、剣道の心得を一对一で丁寧に教えて下さいました。勝ち負けだけではなく、礼儀を重んじることが大切であること。竹刀は日本刀の替わりであること。実際に日本刀を見せてくださり、素振りもさせて頂きました。剣

道は、ただスポーツとして試合をするもので
はなく、自分自身を律して、人として強くな
るための教えだと思いました。

その数日間の中で、様々な言葉も教えて頂
きました。その中で「百里の道は九十九里を
以て半ばとなす」という言葉も教えて頂きま
した。「百里の距離を歩こうと思つたら、九
十九里まで来た時に、や」と半分まで来たと
考える事。最後まで気を抜くことなく、精進
する気持ちを持ち続けること」という意味で、

続けることがとても難しいんだよ、先生もま
だまだ日々修業の身だよと、笑顔で教えてく
ださいました。

実践が始まると、ただ相手を打てばいい訳
ではなく、有効打突とするためには条件があ
るということも分かりました。「充実した気
勢、適正な姿勢、打突部位を刃筋正しく打突、
残心あるものとする」これらを全て満たさな
ければ一本とならないと知り、一本を取る事
はとても難しい事なのだと思いました。

反復練習はとても楽しく、夢中で稽古に取り組む事ができました。数日経つと、足の裏の皮がべロツとむけました。私は剣道を始めたんだな、と実感が湧いて嬉しくなりました。一ヶ月程経ち、やっと防具が届きました。防具が届いたので、今まで技を打たせてもらっていただけの練習から、技を受ける練習も増えました。技を受けて初めて、打たれる痛さも知りました。剣道は人として成長する、というのほ、こういう事でもあるのかもしれない。

いと感じました。人の痛みは実際に受けた事がないと、想像もできない。貴重な体験だと思います。あと、防具を外れた打突はとても痛い事が分かりました。打つ時は、防具を外さないように気をつけようと思いました。

日々の練習は、とても充実していて楽しいです。入団したてなので一番下手なのですが、先生や先輩は、私がよりよい一本を打てるように一生懸命教えてくれます。ハードな練習の時も、全員がゼエゼエと肩で息をしながら

頑張ります。それぞれが、自分の技を磨き上げるために全力です。今、この環境にいられる事が、とても嬉しいです。

まずは一年間頑張ろう。そしてまた一年と積み重ねていきたいです。

学業の成績が極端に落ちた場合は、剣道を辞める事を考えなければならぬと、親から言われています。好きな事を続けていくためには、好きじゃない事もやらなければならぬ。それも含めでの剣道。日々精心の気持ち

を持って、何事も頑張りたいと思います。そして来年は、もう少し成長して、この作文を書く事を目標に、まずは一年間頑張りたいと思います。